

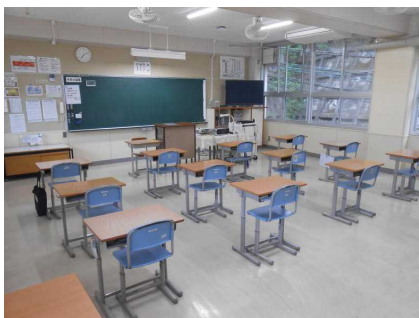
教頭通信デジタル

令和4年5月20日（金）第2号

文責：備前市立三石中学校 早川政宏

環境が人を育てる【三石中学校の素晴らしさ】

毎朝7時頃、校舎の様子を確認するために校内を巡視しています。そして、教室内を換気するため、四隅の窓を開けています（新型コロナウイルス感染症予防のためでもあります）。生徒が登校する前の教室に入ると、いつも驚くことがあります。それは次の写真です。



きちんと縦と横に規則的に整えられた机と椅子。きれいに掃除された黒板。そして、それが全ての教室においてなされていること。三石中学校では当たり前のことかもしれませんが、当たり前ではありません。特に、今年度転勤してきた教職員にとっては驚きのはずです。環境美化に対する生徒の意識の高さと実践力、そして、先生方の徹底した指導とフォローアップの賜だと思えます。生徒たちは学校生活の大半を教室で過ごしています。担任にとっては自分の城でもあります。落ち着いた学校生活は落ち着いた環境からです。



きちんと整理整頓された雑巾たち。使い込まれた雑巾も、ここまで整えられていたら美しさを感じてしまいます。

プランターの花々は見る者の心に潤いと安らぎを与えてくれます。整然と廊下に並べられていることも素晴らしい。

